

2023 年 6 月 14 日

報道関係者各位

株式会社グリーン電力エンジニアリング

**東北エリアで初めてとなる水力発電所を運転開始
温暖化対策・自給率に貢献 尾花沢市中沢川水力発電所**

株式会社グリーン電力エンジニアリング（本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：遠藤 昭二 以下「当社」）は、山形県尾花沢市（市長：結城 裕）『尾花沢市中沢川水力発電所』（以下「本発電所」）の発電を開始することを決定し、2023 年 6 月 14 日に竣工式ならびに開所式を行い、2023 年 6 月 20 日より本稼働することをお知らせします。グリーン電力エンジニアリングによる東北エリア第 1 号の水力発電所となります。



〈開所式の様子〉

本発電所は、東北エリアの発展・活性化に貢献するため、福島県に本社を置く、同じ IS ホールディングスグループである株式会社 DMC aizu（本社：福島県猪苗代町、代表取締役社長：遠藤昭二）より資金提供を受け、協業体制を構築しております。

また、本発電所の水車や水門扉、除塵機などの発電設備は、福島県に本社を置く、同じ IS ホールディングスグループである朝日機工株式会社（本社：福島県石川町、代表取締役社長：大塚浩二）で製造したものを使用し、計画から供用開始までの期間短縮と発電設備の調達コストの低減化を可能にしています。

山形県尾花沢市は、市行政はもとより市民や関係各機関をあげて再生可能エネルギーの活用と普及を推進しており、豊かな地域資源を活用し、尾花沢市次世代エネルギーパークなど、市民をはじめ観光客にも再エネ利活用の啓蒙・啓発を図っており再生可能エネルギーの活用と普及において先進的な自治体です。

当社は、今後も地域の皆様のご理解を頂きながら、安全確保と環境保全対策に万全を期すとともに、水力発電事業による安定的な電力供給と地元企業への発注や雇用創出、地域活動への参加などを通じて、今後も東北エリアの発展・活性化に貢献して参ります。

【山形県尾花沢市について】

山形県尾花沢市は、山形県の最北東に位置し、日本三雪に数えられる全国でも有数の豪雪地帯です。「尾花沢スイカ」のブランドで知られる夏スイカの生産量は日本一を誇り、霜降りでやわらかく甘味がある「尾花沢牛」、味もよく香り高い「尾花沢そば」の生産にも力を入れています。また、全国的に有名な「花笠音頭」の発祥地です。

【発電所概要】

事業主体	株式会社グリーン電力エンジニアリング
発電所名称	尾花沢市中沢川水力発電所
所在地	山形県尾花沢市大字高橋字芳ノ沢地先
水系・河川名	最上川水系中沢川
最大出力	409kW
想定年間発電量	1,530,000kWh（一般家庭 約 400 世帯分の年間使用電力量に相当）
CO ₂ 削減量	年間 1,426 t



〈発電所内の様子〉



〈発電所外観〉

ご参考

(1) 株式会社グリーン電力エンジニアリング 会社概要

商 号	株式会社グリーン電力エンジニアリング
本 社 所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号
事 業 内 容	自然エネルギー等による発電事業、 発電システム・関連機器の開発・製造・販売等
資 本 金	1 億円
代 表 者	代表取締役 遠藤昭二
株 主	株式会社グリーン電力ホールディングス 100%

(2) 株式会社 DMCAizu 会社概要

商 号	株式会社 DMC aizu
本 社 所 在 地	福島県猪苗代町字葉山 7105 番地
事 業 内 容	スキー場、飲食店等の事業、発電事業及び DMO 活動
資 本 金	9,800 万円
代 表 者	代表取締役 遠藤昭二
株 主	株式会社 I S ホールディングス 100%

(3) 朝日機工株式会社 会社概要

商 号	朝日機工株式会社
本 社 所 在 地	福島県石川町大字中野字吹上 57 番地
事 業 内 容	産業用ファン・ブロア、水力発電設備等の製造
資 本 金	1 億円
代 表 者	代表取締役 大塚浩二
株 主	株式会社グリーン電力ホールディングス 94.51%

<お問い合わせ先>

株式会社グリーン電力エンジニアリング 東北事業所

担 当：遠藤俊平（えんどうしゅんぺい）

T E L：0242-93-7170

F A X：0242-93-7175

MAIL：shunpei.endo@g-power.co.jp